vol.23 2012.11

GWOT

グリーン早稲田岡山稲門会

http://green-waseda.net

グリーン早稲田
岡山稲門会
会報誌

VOL.23
NOVEMBER
2012

新会長ご挨拶

グリーン早稲田岡山稲門会
第14代会長　新田顕一郎

栄えある「グリーン早稲田岡山稲門会」の平成24年度25年度の会長を拝命しました、昭和60年商学部卒業の新田顕一郎です。昭和37年（1962年）4月20日生まれで、満50歳です。

中学校、高等学校の同窓生も多いと思いますが、昭和53年に岡山大学教育学部附属中学校、昭和56年に岡山朝日高等学校を卒業しました。実は早稲田に入学が決まった時に、当時の中島正三郎会長と面談させて頂く機会があり、中島会長より、「早稲田卒業後はグリーン早稲田に入会したら良いです」とお誘いを受け、卒業と同時にグリーン早稲田の会員にならせて頂きました。

つまり会員にならせて頂いて28年目ですが、会員の皆さんは素晴らしい人格の方ばかりで、グリーン早稲田の様々な会では、楽しいことばかりです。幹事歴も長く、特に早慶ゴルフの担当を約10年間務めさせて頂きましたが、幹事会に出席することも、いつも楽しみです。

このように私は若い頃から、年齢の離れた先輩とお話させて頂く機会が多くありましたが、仕事でもプライベートでも、いろいろ勉強させて頂きました。また今では、若い後輩と付き合うことを有意義に感じています。会長就任を機会に、グリーン早稲田会員の皆様と、もっともっと親しくなりたいと思っています。これからも一緒にいろいろとお話させてください。

さて、今後2年間の「グリーン早稲田岡山稲門会」の運営方針ですが、基本的には宮地敬幸前会長の運営を踏襲していきたいと考えています。会員の皆様にご負担を強いる行事はなるべく慎み、総会・例会・ゴルフコンペ・牡蠣の会は引き続き開催していきます。その他に行事を実施する時には、会員の皆様に楽しんで頂けるように考えて企画したいと思います。皆様、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。

（昭60商）

前会長ご挨拶

グリーン早稲田岡山稲門会
第13代会長　宮地敬幸

新田新会長と新役員のみなさんへ引継ぎを終え、ほっとしながらこの原稿を書いています。会長のバトンは思ったより重く、力足らずでご迷惑をおかけました。しかしながら、様々な行事をみなさまと共に行い、校歌を歌うことができたことは、会長としてなによりも嬉しいことでありました。ありがとうございました。

先日思い立って、早稲田に学ぶ間住んでいた椎名町を訪ねました。若かった日々の棚卸に一度行かなくては、という漠然とした思いが日々強くなっていたのです。駅の建物は新しくなっていて、トキワ荘や帝銀事件などの説明展示は、当時は知らなかったことも多く興味深いものでした。よく時間をつぶした駅前の本屋やゲームセンター、お気に入りだった洋食屋さんは、残念ながら姿を消していました。銭湯はマンションになり、下宿屋があった場所には音楽教室が建っていました。毎晩のように使った下宿屋の向かいの電話ボックスだけがあまり変らない場所にあり、思い出を蘇えらせてくれました。おっさんが一人ぶらぶら歩いて、四半世紀の時間の経過を確認しただけの事です。でも、来てよかった。何か引っ掛かっていたものが取れ、ちょっぴり清々しい気持ちで岡山へ戻ることができました。

あの不思議な感覚は何だったのか？わからないままに日々は過ぎましたが、会報のGWOTマークに記されているSamuel Ullmanの詩が、それが何かを教えてくれました。

Youth

Youth is not a time of life, it is a state of mind.
Years may wrinkle the skin, but to give up enthusiasm wrinkles the soul.

私は欲していたのだと思います。この詩の詠う理想と情熱を失う事なく、人生の残り半分を迎えるためのきっかけを。青春の日々と向かい合うこの訪問が、それを果たしてくれました。グリーンの名に相応しい、若々しい心の持ち、ようを、いつまでも大切にしていりたいと思います。（昭61理工）

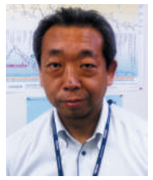
新入会員

今年は11名のワセダ人が入会。
現会員数は194名となりました
（8月31日現在）

氏名
①卒業年
②学部
③勤務先
④自己PR

赤木 正幸（あかぎ まさゆき）
①平成13年
②法学部
③みんなの党衆議院岡山県第1区支部
④「なりたかった自分になるのに、遅すぎるということはない。」新しい世界にチャレンジ中です。

金重 潤平（かねしげ じゅんぺい）
①平成6年
②第一文学部
③有限会社金重晃介
④備前の山奥で陶芸の修行をしております。



佐藤 雅幸（さとう まさゆき）
①昭和58年
②社会科学部
③みずほ証券株式会社 岡山支店
④9回目の転勤で、昨年末に岡山に赴任し、初めて早稲田の会に入会させていただきました。よろしくお願いいたします。

杉浦 俊太郎（すぎうら しゅんたろう）
①昭和56年
②政治経済学部
③NHK岡山放送局
④平成24年6月、NHK岡山放送局長として着任しました。よろしくお願いいたします。

土方 篤（ひじかた あつし）
①平成5年
②法学部
③株式会社東海日動パートナーズ岡山
④大学では法律そっちのけで体育会でラグビーばかりやっていました。

宮長 雅人（みやなが まさと）
①平成52年
②法学部
③株式会社中国銀行　頭取
④よろしくお願いいたします。

村主 淳二（むらぬし じゅんいち）
①平成24年
②商学部
③みずほ証券株式会社 岡山支店
④生まれも育ちも東京で4月末に岡山に来ました。よろしくお願いします。

和田 由布子（わだ　ゆふこ）
①平成12年
②社会科学学部
③株式会社キャリアプランニング
④世界マスターズをめざして今日も泳いでいます。

渡邊 奈緒（わたなべ なお）
①平成21年
②文学部
③みずほ証券株式会社 岡山支店
④岡山に来てもうすぐ一年になります。趣味は飲酒と海外旅行です。

【他】松井 俊之
目黒 敦惠

編集後記

広報委員会委員長として、早くも3期目を迎えました。

今期は前期までの絶対的エース（O山さん）が卒業し、新しいメンバーを加えてということで、個人的には非常に不安な船出でした。しかし裏編集長のH戸さんが、早くから詳細なスケジュールを作り上げ、明確な締め切りを設定してくださり、広報委員会担当役員のA東さんからは貴重な助言や励ましをいただきました。新しいメンバーのN田さん、M井くんは、今までにない発想から企画を出し合うとともに、I辺さん、O田さんと一緒に原稿催促・回収などに奔走してくれたため実際のところ、この3年間の中で、最も時間的な余裕を持って会報誌を作成し、会員の皆さまにお届けすることができました。役員及び委員の皆さんには、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

さて新企画の方はいかがだったでしょうか。我らが母校の「いま」の最新情報や、グリーン早稲田岡山稲門会の会員情報などがふんだんに含まれていて、なかなか興味深い内容になったのではないかなと思っております。もちろんこれが会報誌の最終到達点ではございません。今回の企画に対するご感想やご意見、またこのような企画や記事を掲載して欲しいといったご要望がございましたら広報委員会やグリーン早稲田岡山稲門会事務局までぜひお寄せください。会員の皆さまのご意見やご要望を反映したより良い会報誌となるよう今後とも頑張っていきたいと思います。

横野 崇司（平6法）

■会報誌に関する問合せ先
広報委員会　横野崇司
〒700-0821
岡山市北区中山下1・10・10
新田ビル3階
横野崇司法律事務所
TEL.086-238-5320　FAX.086-238-5321

■会に関する問合せ先
グリーン早稲田岡山稲門会事務局
〒703-8236
岡山市中区国富739・9　国富ビル3階
操山労務管理事務所内
TEL086-270-5221　FAX.086-270-5220
E-mail:waseda@misaoyama.co.jp
hp:http://green-waseda.net

■発行人
グリーン早稲田岡山稲門会

■企画・編集
広報委員会　磯辺陽子・太田啓造・中田園子
波戸貴久・森井悠・横野崇司

■企画・制作
BIT POINT CO.,LTD.
〒700-0945　岡山市南区新保1318・1
TEL.086-243-3066　FAX.086-243-3086

今年の主なニュース

■1月～／オウム事件容疑者続々逮捕
■5月／国内原発が全て稼動停止
■5月／東京スカイツリー開業
■7・8月／ロンドンオリンピック
■9月／消費税増税法案、衆院通過

牡蠣を味わう会

地産かきに舌鼓、
岡山早稲田ファミリー
集いの場へようこそ!

その日水揚げされた旬の牡蠣に舌鼓

2月4日開催「牡蠣を味わう会」には、県内外から計53名がご参加されました。同会の特色は、食べて、飲んで、交流し、冬場の英気を養おう!という主旨に加え、会員ご家族様やご友人といった、日ごろ早稲田人をサポートされている「早稲田ファミリー」の方々も参加ができ、「グリーン早稲田岡山稲門会」の魅力の一部を体感していただける点です。私の実家でその日水揚げしたとれたて牡蠣をお店に持込み、趣向を凝らした牡蠣料理でお迎えする同会は、次回25年2月2日(土)アカバナにて開催予定です。ぜひ奮ってご参加ください!

磯辺 陽子(平5社)

六大学ゴルフ

早慶ゴルフをリニューアル
六大学対抗ゴルフコンペを
ついに開催

昨年勝ち越しのチャンスを惜しくも逃してしまいました、早慶親睦ゴルフコンペをリニューアルし、平成24年10月6日(土)に六大学対抗ゴルフコンペを開催いたしました。

過去に開催を試みるも、実現できなかった六大学対抗と聞いていますが、小山親睦委員長が中心となって、各大学のご担当者と協議を重ね、ついに実現の運びとなりました。会報誌の入稿期限の関係で結果はお伝えできませんが、ご参加の皆様におかれましては、初めての六大学にアツく対抗頂いたことと存じます。

また六大学対抗ゴルフコンペの練習ラウンドとしまして、稲穂会ゴルフコンペも開催しますが、今後はゴルフにかかわらず、早稲田の絆を広げられるような親睦企画を立案、実施していきたいと思いますので、ご要望がありましたら是非お近くの親睦委員までご連絡ください。

高見 宣哉(平13商)

会員のひとこと

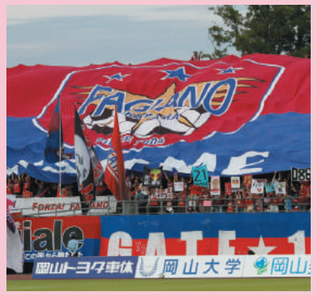
会員の皆さまの「今」を追うコーナーです。現在取り組んでいることやご報告したいことなどをどんどんご紹介していきます。記事掲載をご希望の方は広報委員会まで

取材&文　森井 悠(平18理工)

森井悠さんからひとこと

「子どもたちに夢を」を理念とし、
岡山県全域を本拠地として活動する
ファジアーノ岡山

9月7日現在、平均来場者数は8068名と、J2リーグ22クラブ中で5番目。(チーム順位は10位)永遠に続く「岡山のシンボル」を目指し、クラブ一丸となってひたむきに走り続けます。



新田新会長からひとこと

PGAトーナメントプレイヤー、息子新田哲大。米ミニツアー2勝!

桑原順さんからひとこと

水流さえあれば24時間365日発電可能なエリスの小水力発電

酒井孝太郎さんからひとこと

高梁市で、漬物や味噌などを製造し、販売しております

芦田香奈子さんからひとこと

地酒と郷土料理でおもてなし。割烹美作☎086-222-3213

直木賞・芥川賞

新潮社刊
磯崎憲一郎
終の住処

最近直木賞・芥川賞を受賞した早稲田卒の作家のご紹介。2009年に磯崎憲一郎氏が「終の住処」で芥川賞を、同じ年に北村薫氏が「鷺と雪」、白石一文氏が「ほかならぬ人」で直木賞を受賞しました。早大卒は多いそうです。

スポーツ

今年のロンドンオリンピックで活躍した早稲田生及び卒業生をご紹介します。写真のディーン元気選手が槍投げ決勝で10位、藤井拓郎選手が水泳400mメドレーで銀、星奈津子選手が水泳200mバタフライで銅を取りました!

ホームカミングデー

今年のホームカミングデーは10月21日開催で記念会堂で行われます。歓迎プログラム・総長式次第・招待者代表挨拶・年次稲門会発足式・校歌斉唱などです。同日の午後に稲門祭という校友のための祭典があります。

法学部エコ校舎

グレーの屋根の建物は、8号館法学部です。2005年に完成し、環境に配慮したエコ校舎で自然換気・通気による空調エネルギーの削減を目的とし、建物中央が吹き抜けです。他に現在3号館が建て替え中です。

2011年度例会 2012年度総会

人生劇場いざ序幕!
例会と総会で
早稲田精神を昂揚しました

2011年度の例会は、昨年12月4日にアークホテル岡山に於いて開催されました。

まず、青木郁子先生の率いるヒップホップダンスユニットLOOP & RAISEの10名にキレのあるヒップホップダンスを披露していただいた後、くじびきによる早稲田グッズのプレゼントが行われました。次に、早稲田精神昂揚会OBの尾崎博さんと酒井孝太郎さんによる「人生劇場」で参加者全員が古き良き早稲田に思いを馳せ、「紺碧の空・校歌」で早稲田精神を昂揚し、閉会となりました。(参加者45名)

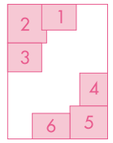
2012年度の総会は、今年の6月23日にえきまえミヨシノに於いて開催されました。宮地前会長の挨拶の後、2011年度の決算の承認、新田新会長を始めとする新役員及び幹事の選任、2012年度の予算の承認がスムーズに行われました。

懇親会は、外山元会長の乾杯で始まり、新入会員紹介の後、新田新会長のご友人のドクターハルさんによるクロースアップマジックで会場が沸きました。

今回の総会は、新幹事の酒井君、森井君、溝田君、近藤君にそれぞれ役割を果たしていただいた上に、ここ数年で最も多い7名の新入会員の方々に参加いただき、非常に活気のある会になりました。(参加者59名)

新田新会長の下で、会員の皆様に「参加してよかった」と言っていただけるような会を、幹事一同で企画・運営していきたいと思います。

田頭 健司(平5法)



1) LOOP&RAISEの皆さん。20分間の激しいダンス。その運動量に脱帽
2) 人生劇場。早稲田精神の真髄を見せていただきました
3) 酒井幹事によるエール。諸先輩方から「ええのが入ってくれた」と大絶賛の声
4) 総会。幹事歴20数年の新田新会長の下で新体制がスタートします
5) 新入会員紹介。4名の方々に二次会と三次会にも参加いただきました
6) 校歌。締めは都の西北。愛校心が高まります

学部について

2004年に国際教養学部ができました。ほとんどの授業が英語で行われ、教員と学生の3分の1が海外出身者です。また2007年に第一・二文学部の募集が停止され、新たに文化構想学部、文学部が設置されました。

学生数

2008年 45,192人
2012年 44,756人

学生数は過去5年を見てもあまり変化はなく、少子化により競争率が低くなり、入りやすくなっているとも考えられます。早稲田大学は、日本の総合大学として初めて女性に門戸を開いた大学でもあります。1939年に4人の女子が入学。

受験者数

2008年 125,249人
2012年 108,527人

本年度の受験者数は108,527人であり、過去5年を振り返ってみると徐々に減ってきています。2008年と比べると、約1万7千人減っており、最近では地方志向が強まり、地方出身者の受験が減ってきているとのことです。

早稲田NOW

早稲田大学関連のニュースをピックアップしてみました

取材&文
中田 園子(平6一文)